

令和 7 年度

社会福祉法人ふたば福社会 事業計画

□法人内グループホームの整備と整理

- ・利用者の高齢化、既存物件の老朽化、人材確保 等、様々な課題があり、整備の方向性を模索
- ・神島ホームの大規模な浄化槽改修工事の実施、平成 5 年（1993 年）開所時からメンテナンスできていない外壁サイディングと屋根の吹き替え工事の実施を予定
- ・体制を強化し、利用者関連の記録、事業運営関連の規定類、職員処遇関連の規程類の整備をすすめる

□人材の確保に向けての取り組み

- ・引き続き新卒採用の計画的な実施、法人内 OJT（実務を通じて行う職員の教育訓練）による次世代の育成
- ・児童指導員の計画的な確保（成人事業所との兼務など）
- ・サービス管理責任者の計画的な確保
- ・和歌山県作成の企業紹介冊子「高校生のためのわかやま就職ガイド」掲載申請
- ・採用後は法人内で実務を通じての教育訓練を実施、次世代の人材確保や資格取得のサポートに繋げる。

□職場環境改善の取り組み

- ・事業所年間休日を 116 日 ⇒ 118 日 に変更

□「はッピーわーく」の整備検討（将来の形を含めた協議）

- ・長年課題になっている建物整備（バリアフリー化等）・移転も念頭に動きを検討
- ・整備をチームで取り組む

□公認心理師・臨床心理士（浅井育子氏）ご協力のもと新しい取り組みの実施

- ・メンタルヘルスケアの観点から、ハンドコンサルテーションの継続的な実施
- ・心理的な側面からハラスメント関連研修の実施を依頼

□法人内事業所人事交流の継続・発展

- ・引き続き実施、昨年実施できなかった法人外交流の実施

□引き続き積極的に外部実習の受け入れを行う

- ・現在の主な受け入れ先 介護初任者研修の事業所実習 パソコンスクール TAKumi 等

□社会福祉法人の責務である地域における公益的な取り組みの継続的な実施

- ・各事業所で開催
- ・2025年9月28日（日）

「地域との交流」と位置づけているナカマルマルシェをビッグU 多目的ホールで開催予定

□カスタマーハラスメント（カスハラ）対策 義務化に向けた動き

- ・対応マニュアルの策定や相談窓口の設置など、安心して働ける職場作りに繋がる具体的な対策が求められる予定（今後の通常国会に法改正が提出される見込み）
- ・対応方針を法人内外へ周知するツールとして「カスタマーハラスメントに対する行動指針」を現在作成中 作成後ホームページへの掲載を行う。

□福祉・介護職員等処遇改善加算について

- ・新しい職場環境等要件に取り組み、最上位の加算取得による給与への還元（雇用の形態、勤務年数、資格の所持等により還元額は異なる）に取り組む
- ・常勤換算1.0（フルタイム常勤職員）について、令和7年度2%のベースアップに繋がる取り組みを実施
- ・障害福祉人材確保・職場環境改善等事業 補助金の取得と活用
（従来の障害福祉サービス等報酬上の処遇改善加算等に加えて、人件費（一時金等）の引上げ又は職場環境改善（間接支援業務に従事する者を募集するための経費、研修費等）に使うことを要件とした補助金）

□地域連携推進会議の設置・対応（対象：共同生活援助 グループホーム）

- ・他業種参入のあおりを受け 支援の質の確保のため、1 ホームにつき年 1 回以上の地域関係者を含めた会議、ホームへの外部委員の訪問が義務付けられるため対応する予定

□新しい職員紹介制度の策定（2025年4月1日～ 開始）

- ・適用方法を簡素化することにより、制度の活用を目指し、必要な人材の確保に取り組む
- ・新しいマニュアルを各事業所に配布
- ・職員に対し定期的な求人情報の共有

□新しい法人ホームページの作成

- ・新しいホームページを作成予定
現在業者の方と一緒に作成中、2025年夏ぐらいのアップを目指している。
- ・ホームページデザインと連動して全体のパンフレット作製に取り組む

□理事会・定時評議員会の開催

- ・定款に則り、適宜開催